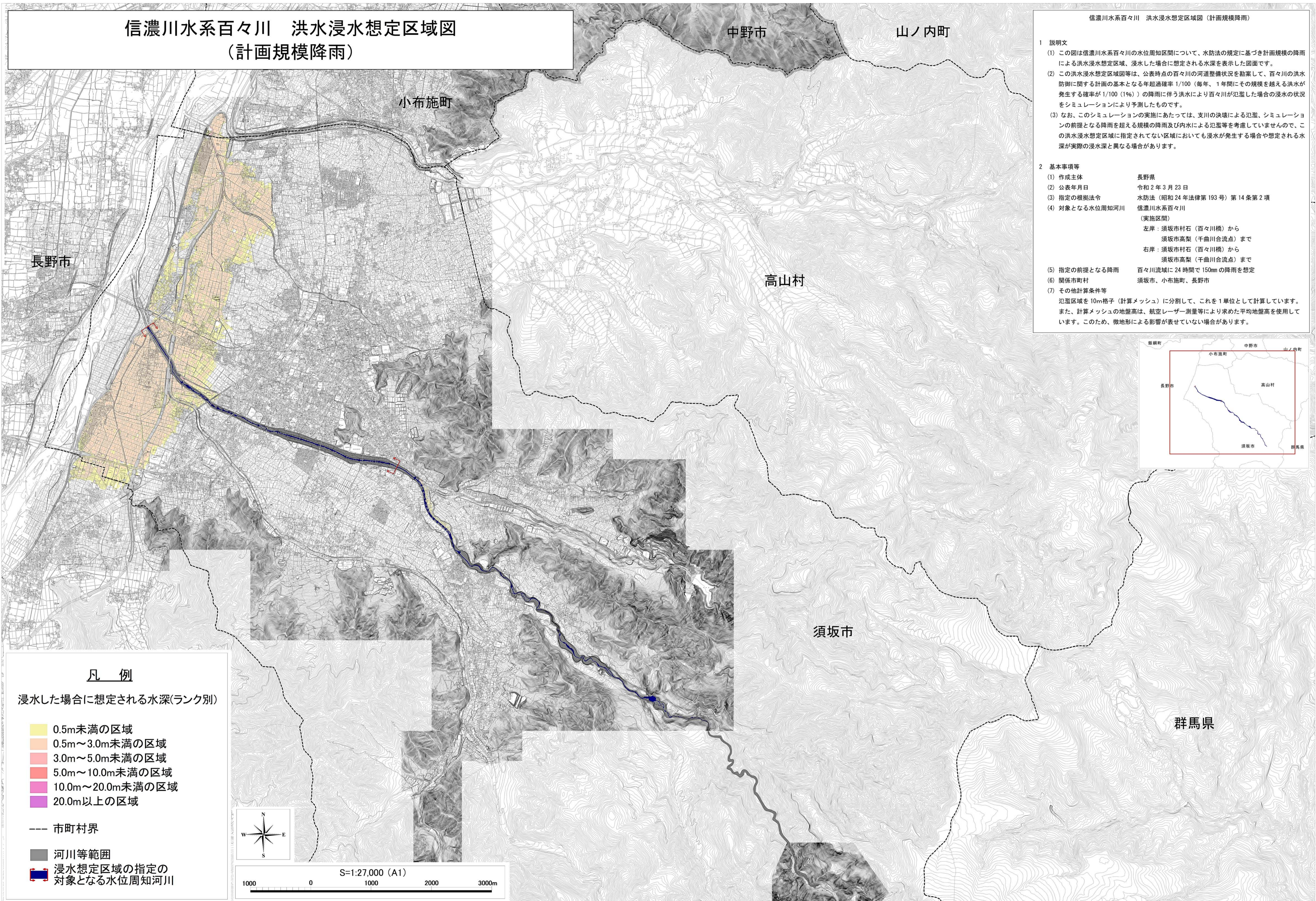


信濃川水系百々川 洪水浸水想定区域図 (計画規模降雨)



信濃川水系百々川 洪水浸水想定区域図(計画規模降雨)

1 説明文

- (1) この図は信濃川水系百々川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき計画規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域図等は、公表時点の百々川の河道整備状況を勘案して、百々川の洪水防衛に関する計画の基本となる年超過確率 1/100 (毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100 (1%) の降雨に伴う洪水により百々川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されてない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

- (1) 作成主体 長野県
- (2) 公表年月日 令和2年3月23日
- (3) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
- (4) 対象となる水位周知河川 信濃川水系百々川(実施区間)
左岸: 須坂市村石(百々川橋)から須坂市高梨(千曲川合流点)まで
右岸: 須坂市村石(百々川橋)から須坂市高梨(千曲川合流点)まで
- (5) 指定の前提となる降雨 百々川流域に24時間で150mmの降雨を想定
- (6) 関係市町村 須坂市、小布施町、長野市
- (7) その他計算条件等
氾濫区域を10m格子(計算メッシュ)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

凡 例

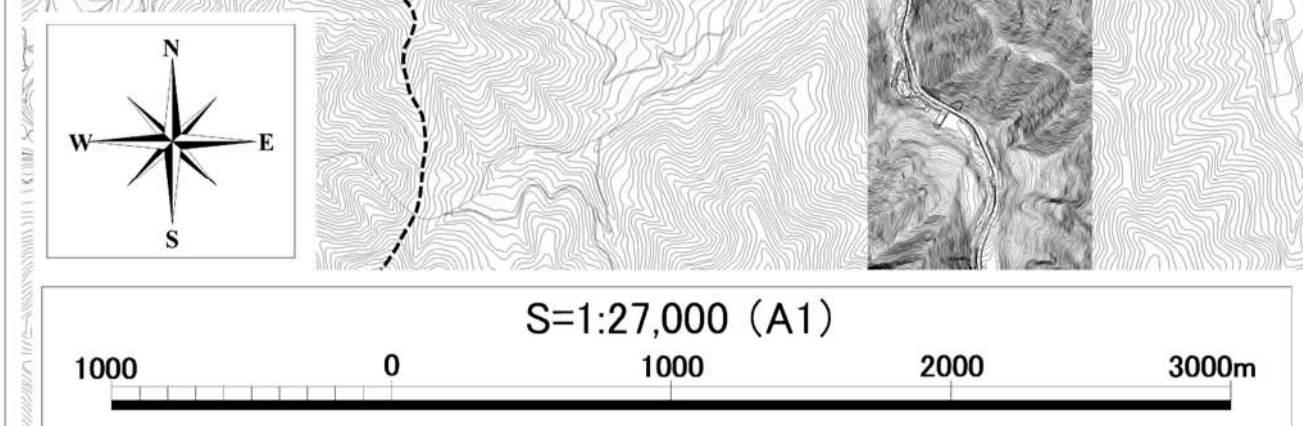
浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m~3.0m未満の区域
- 3.0m~5.0m未満の区域
- 5.0m~10.0m未満の区域
- 10.0m~20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域

--- 市町村界

■ 河川等範囲

■ 浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川



この地図の作成に当たっては、国土院院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(測量法に基づく国土院院長承認(使用)R1JHs1245)
この地図は須坂市長の承認を得て、須坂市発行の都市計画基本図(2,500分の1)を使用して作成したものである。(承認番号 31まち第182号)

この地図は、中野市長の承認を得て、中野市都市計画基本図数値地形図レベル2,500(DMデータ)を使用したものです。(承認番号 中野市指令元第754号)
この地図は小布施町長の承認を得て、小布施町都市計画基本図数値地形図レベル2,500(DMデータ)を使用したものです。(承認番号 元建水第905号)